

事業事前評価表

国際協力機構中南米部中米・カリブ課

1. 案件名（国名）

国名：ニカラグア共和国

案件名：セラヤセントラル保健管区二次機能病院建設計画（Project for the Construction of Department Hospital of SILAIS Zelaya Central）

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における保健セクターの現状と課題

ニカラグアにおける乳児死亡率、妊産婦死亡率は、それぞれ21（出生千対）、100（出生10万対）（WHO：2013年）であり、保健分野にて2015年に達成すべきミレニアム開発目標の18、42.5に達していない状況である。

ニカラグアの中でも貧困層の多い南西部に位置する南大西洋自治区の3市（ヌエバギネア市、エル・ラマ市、ムエジェ・デ・ロス・ブイエス市）とチョンタレス県のエル・コラル市を管轄するセラヤセントラル保健管区（Sistema Local de Atención Integral de Salud Zelaya Central: SILAIS Zelaya Central）は、2014年1月にチョンタレス保健管区から分離し新しく設置された保健管区であり、二次機能を有する病院が存在しない。このためセラヤセントラル保健管区において妊産婦の帝王切開や交通事故の外科手術等の対応が必要な場合は、隣接するチョンタレス保健管区の二次機能病院への通院・レファラル搬送を余儀なくされている現状である。

保健省は、住民へ質の確保された保健医療サービスを迅速に提供すべく、レファラル体制を意識した保健医療ネットワークの形成を目指し、各保健管区で二次機能病院の設置を進める方針であるが、財源不足により進んでいない。

(2) 当該国における保健セクターの開発政策における本事業の位置づけ及び必要性

現政権の国家開発計画である「国家人間開発計画2012年-2016年」は、特に南大西洋沿岸における地域の住民の健康状況の改善を優先課題として挙げており、保健医療施設の整備を含めた保健医療サービスの改善に取り組んでいる。

また、ニカラグア保健省は「国家保健政策2008年-2015年」を策定し、同政策の中でも貧困層、最貧困層及びサービスへのアクセスが困難な層のための保健サービスの提供を推進してきた。本事業は、貧困層の多い南大西洋沿岸に位置する自治地域の保健医療インフラを強化し、診療機能及び機会の拡大を図ることで、貧困層への平等な医療サービスの提供の実現に寄与することから、これらの計画・政策と整合する。

(3) 保健セクターに対する我が国及び JICA の援助方針と実績

対ニカラグア共和国国別援助方針（2013年3月）にて重点分野「貧困層・地域における社会開発」及び協力プログラム「保健医療・衛生改善プログラム」が定められ、本事業はこれら方針に合致する。我が国は同国の内戦が終了した1990年以降、ニカラグアの西部に位置する「グラナダ病院建設計画」（E/N締結1996年度）及び「西部2県保健医療センター整備計画」（E/N締結2004年度）等無償資金協力によって保健医療施設の建設・改修、医療機材等の供与を行ってきた。また2000年以降は「グラナダ地域保健強化プロジェクト」（2000年-2004年）等の技術協力プロジェクト及びボランティア派遣によって、地域保健

及び母子保健分野の協力を支援してきた。

(4) 他の援助機関の対応

米州開発銀行（以下、「IDB」という。）は、当国における経済社会包摂的開発を促進する目的で保健分野の基礎条件改善を行うこととし、セラヤセントラル保健管区のヌエバギネア市等において妊産婦および子どもの健康状況の改善に係る支援を実施している。

3. 事業概要

(1) 事業の目的

本事業はセラヤセントラル保健管区において、二次機能を有する病院を新たに整備することにより、同保健管区の医療サービスの質の改善を図り、もって住民の健康状況の改善に寄与するもの。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

セラヤセントラル保健管区（人口約167千人（2015年））

(3) 事業概要

1) 施設、機材等の内容

【施設】外来診療部門（総合外来、内科、小児科、小児外科、産婦人科、一般外科、泌尿器科、整形外科、顎顔面科、歯科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、理学療法科の14診療科）、救急診療部門（産婦人科、内科、外科、整形外科、小児科の5診療科）、一般病棟（小児科、外科、整形外科、産婦人科、内科の合計132床）、集中治療室、手術室、中央材料室、陣痛・分娩室、新生児室、管理部門、サービス部門（平屋建、延床面積6,469.36m²）

【機材】医療機材（X線撮影装置、超音波診断装置、全自動血球計数装置、全自動生化学自動分析装置等）

2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

コンサルティング・サービス：詳細設計、入札関連業務、施工調達監理

ソフトコンポーネント：新病院に導入される医療機材維持管理

(4) 総事業費/概算協力額

総事業費

当初計画：25.06 億円（概算協力額：日本側 20.90 億円、ニカラグア国側 4.16 億円）

追加贈与分：5.65 億円（概算協力額：日本側 5.65 億円）

(5) 事業実施スケジュール（協力期間）

2018年4月～2021年9月を予定（計42ヶ月。詳細設計、入札期間を含む）

(6) 事業実施体制（実施機関/カウンターパート）

保健省（Ministerio de Salud）およびセラヤセントラル保健管区（SILAIS Zelaya Central）

(7) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類：C

② カテゴリ分類の根拠：本事業は「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010年4月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

2) 貧困削減促進

貧困対策・貧困配慮：ニカラグア保健省は、国民へ無料で医療サービスを提供しており、本事業により貧困層がより質の高い医療サービスを受けられるようになる。

3) 社会開発促進（ジェンダーの視点、エイズ等感染症対策、参加型開発、障害者配慮等）

新たに建設される病院は、床面に段差を設けない構造とすることで、車いす利用者の安全な院内移動が実現し、医療サービスを円滑に受けられるようになる。

(8) 他事業、ドナー等との連携・役割分担

他機関との連携・役割分担：IDBが2014年に1年間、妊産婦および新生児の健康管理を行う「お産を待つ家」を対象に、助産師の研修用機材、調理用器具などを供与しているが、IDBによる支援と本計画との間に支援内容の重複はない。

(9) その他特記事項：特になし

4. 外部条件・リスクコントロール

(1)事業実施のための前提条件：病院新設に係る用地取得、建設許可。

(2)プロジェクト全体計画達成のための外部条件：2016年10月～11月に予定されている大統領選挙により同年7月頃から行政機能が低下。

5. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1)類似案件の評価結果

ニカラグア国無償資金協力「ボアコ病院建設計画」（年度2005年）の事後評価等では、病院長及び管理部門責任者等が毎週現場を訪問し、医療廃棄物の処理や施設資機材の正しい取り扱いをチェックする等、病院職員の意識変化への取り組みが同計画の持続性を高めた大きな要因の一つであったとの教訓が得られている。

(2)本事業への教訓：技術協力プロジェクト「チョンタレス保健管区およびセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト」（2015年-2019年）等、他のJICA事業と連携し、保健医療サービスにかかる人材育成等を行うことで保健医療施設職員の意識変化を促す点について留意する。

6. 評価結果

以下の内容により本案件の妥当性は高く、また有効性が見込まれると判断される。

(1) 妥当性：本事業はニカラグアの中でも貧困層の多いセラヤセントラル保健管区における医療サービスの質の改善を図るものであり、ニカラグアの開発課題及び我が国及びJICAの協力方針等と整合することから、無償資金協力としての本事業の実施を支援する必要性及び妥当性は高い。

(2) 有効性：

1) 定量的効果

指標名	基準値 (2014年実績値)	目標値(2023年) 【事業完成3年後】
セラヤセントラル保健管区以外の上位医療施設への紹介患者数 (件/年)	897	449
帝王切開件数(件/年)	117	234
入院患者数(人/件)	4,189	8,008
救急外来患者数(人/年)	17,203	35,139
年間専門外来患者数	14,321	29,101

2) 定性的効果

病院環境及び医療サービスの質改善により、患者の満足度および従業員の満足度・モチ

バージョンが向上する。貧困層の多い南大西洋自治区の医療サービス体制が強化されることで、住民の健康状況が改善する。

7. 今後の評価計画

- (1) 今後の評価に用いる主な指標
6.(2) 1)のとおり。
- (2) 今後の評価のタイミング
 - ・ 事後評価 事業完成 3 年後

以 上